

導入施設

株式会社JR東日本テクノサービスが車両メンテナンス、清掃業務を請負っているJR東日本（東日本旅客鉄道株式会社）の在来線車両のフロアほか

導入を決めた理由

JR東日本テクノサービスは従来、車両フロアにはガラスコーティングを採用していましたが、柔らかい床素材の場合、硬質のガラス系では適さず、代替品を探していたところ、他地域の鉄道整備会社でウレタン系のFPCの導入事例があることが分かりました。2021年11月より22年5月まで試験施工を行い、JR東日本への試験経過報告、リスクアセスメントも経て、同年7月より導入されました。さらなる検証を待つ必要がありますが、塗布周期の延長による人手不足への対応、人件費の圧縮も期待されています。

初回導入の状況

【FPC プロテクションコート】

1両編成の気動車の床面に3層を塗布（運転台、座席下はそれぞれ2層と1層のみ）
当日は車内温度26℃、湿度50%前後のため、1層あたり20分ほどで乾燥しました。

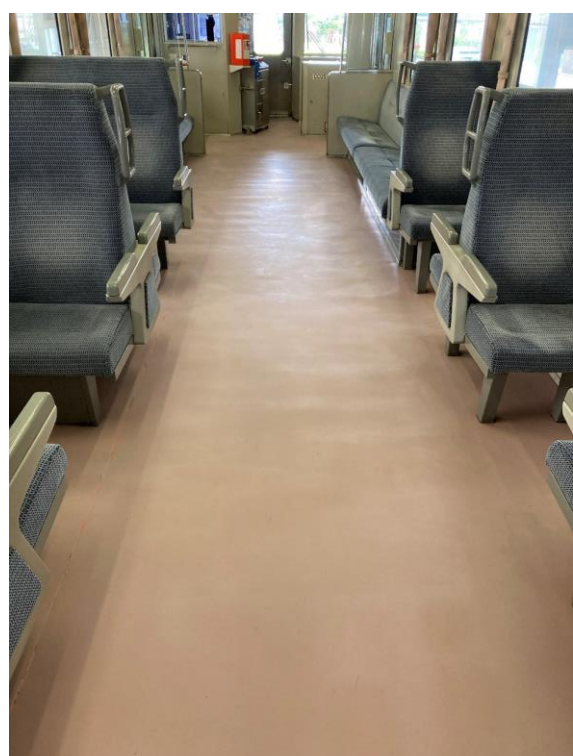
作業された方は、ワックスより伸びは少ないが、ほぼ同じ感覚で塗布できるとの感想です。

先行の試験施工では、融雪剤の影響もありましたが、従来の3ヶ月周期のワックス塗布より長い6か月以上の耐久性があると思われます（融雪剤は自洗機での洗浄が望ましい）

製品への要望としては、老健施設の利用者がある場所で試験施工した際に、もう少し短い時間で乾燥すればよいのでは、との意見が寄せられました。



▲ リンレイ社員から研修を受けながらの塗布作業



▲ ハクリ作業後のフロアの状態
光沢計の数値は1～5



▲ FPC プロテクションコート3層
塗布後のフロア



▲ 3層塗布後、光沢計の数値は77～81に上昇、照明が写り込んでいます

株式会社JR東日本テクノサービス

所在地： 宮城県仙台市青葉区一番町2-2-13

事業内容： 鉄道関連事業 駅関連サービス（駅舎の清掃整備業務、駅構内の整備業務など）
車両関連サービス（鉄道車両の点検・整備および修繕業務、鉄道車両の清掃業務、
車両基地での運転業務など）

ビルメンテナンス事業 オフィスビルおよび商業施設の清掃、ホテルの客室清掃、病院での清掃業務など